

対面参加者のみの集計：39名/64名、回答率：約61パーセント

1.本日の研修会について ※該当する項目に○をつけてください。【複数回答有】

とても満足 12 (13※内容はとても満足) 満足 21 やや不満 1 (2 ※音声) 不満 0 無回答 5

◇ご回答いただいた項目に対して、具体的に選んだ理由を教えてください。

- ・分かりやすかった、資料が見やすかった。
- ・認知症患者さんの心の内面について触れることができた。
- ・分かりやすかったです。
- ・先生の音声がとても聞き取りにくかった（響きすぎ？）
- ・患者や家族への具体的な説明内容もあり、分かりやすかった。
- ・貴重な講演でとても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・声が重なって聞きづらかった。
- ・認知症当事者、ご家族により添ったお話しで、一般市民、専門職ともに勉強になるお話でした。
- ・認知症に関する先入観、偏見を学習できた。
- ・動画が多くあり、イメージしやすかったです。研修時間も丁度良いです。
- ・講師の方が早口なのか、聞き取りづらく感じました。内容が多いからです。
- ・診断後支援における心理的支援について詳しく知ることができ、大変勉強になりました。
- ・認知症の人、医療の現実→これをどう進展させるか？
- ・音声の不鮮明で聞きとりづらい（年齢的な??） caseがありました。
- ・今日も参加させて頂き、ありがとうございました。
- ・認知症の人の心情など心理面で気づかされたこと
- ・新しい知識、考えを知ることができました。
- ・姉が認知症であり、とっても参考になりました。
- ・先生のお話が早く、マイクの関係が聞き取りにくかった。
- ・認知症の方に役割をもつ事の大切さは伝えて来ましたか？家族の方への役割に関して、感謝の言葉というのがとても大事な事だと思ったからです。
- ・当法人も「認知症対応型」と表した事業がいくつかあります。少なからず、本日の内容を当該事業所を始めとし、法人全体で啓発していくべきだと深く思いました。
- ・新しい認知症観、診断後支援的支援は当院でも取り組むべきだと思った。
- ・自分事、いずれ自分もなる。
- ・資料が分かりやすい。対面での研修が良かった。お忙しい講師と思いますが？
- ・本人、家族との関わり方を改めて考えることが出来た。訪問時、必ず1つはほめる事はしていたが。
- ・事例を沢山聞くことが出来て勉強になりました。

2.本日の研修会の進行、内容について※該当する項目に○をつけてください。【参加者のみの回答】

とても満足 12 満足 20 やや不満 2 不満 0 無回答 5

◇ご回答いただいた項目に対して、具体的に選んだ理由を教えてください。

- ・もう少し内容を減らしてゆっくり話して頂けた方がより聞き取りやすく理解できたとは思いました。
- ・声が大きくて聞きやすかった。
- ・いつもスムーズに進行してくださっていると思います。
- ・とても聞きやすい言葉づかいで優しい口調で聞きやすかった。
- ・進行がとてもスムーズでした。
- ・スムーズな進行だったと思います。
- ・内容は良かった。最後は自分の物差しを変えようと思いました。
- ・スムーズで空調への配慮もよかったです。

2.本日の研修会の進行、内容について※該当する項目に○をつけてください。(続き)

- ・聞きやすい。
- ・新しい認知症観。
- ・認知症の診断後心理的支援の大切さを学ぶことができたから。
- ・今後の予定一働いている為、長期の予定が分かると休みを事前に取り易くなる為。
- ・講演だけでなく（認知症に関する）関する多くの資料の準備ありがとうございます。
- ・認知症観改善等の説明
- ・初めて参加でしたが、このようなすばらしい研修会に自分の無知を思い知らされました。
- ・聞きやすい声と話し方の進行だったため。研修では、実際の面談場面がみれたため。
- ・先生のお話が聞き取りにくくつかれました（大きすぎるのかな）テキストがあったので、理解できました。ありがとうございました。
- ・長生きすると認知症になる事で少し不安になりました。
- ・先生の解答を司会の方がまとめて伝えるのは気になりました。
- ・内容はとても参考になる話でした。
- ・高齢化社会の普通の問題としてひろく知識をもって認識されて、明るい社会を作る。
- ・詳しい資料を用意して頂いてありがとうございました。

3.本研修会をどのような形で知りましたか？また、今後、どのような形で広報、普及啓発した方が
いいと思いますか？※該当する項目に○（複数回答可）、該当しなければその他に記載をお願いします。

ホームページ 3 広報 18 福岡県からのお知らせ 1 SNS 2 西日本新聞 2

その他（職場 6、民生委員会 1、事業所からの回覧 1、支援係 1、紙 1）

◇今後どのような形で広報、普及啓発した方がいいですか？

現状維持 12 ローカル誌への掲載 7

その他→インスタグラム、TikTOK、X など、すべての人がスマホを持っている訳ではない為、アナログも必要。いきいきサロン等で啓発。事務局からのお知らせ、参加者向けのチラシ等。

4.ZOOM を用いての研修会開催について ※該当する項目に○をつけてください。

とても満足 6 満足 11 やや不満 1 不満 0 無回答 21

◇今後も ZOOM を用いての研修会の開催を実施してほしいですか？

【ZOOM 開催に】賛成 15 反対 6 無回答 18

◇ご回答いただいた項目に対して、具体的に選んだ理由を教えてください。

- ・声が響きすぎて、聞きとりづらい。
- ・ZOOM 開催について不便も不満も感じていないので。
- ・会場に来れない方など ZOOM なら参加できるよって方がいるかもしれない。
- ・感染症の拡大などの場合は ZOOM もやむを得ないが、音声聞き取れなかった。
- ・音響のせい聞きづらかった。先生の熱意はすごく感じました。
- ・幅広い人に知ってもらいたい。
- ・遠方の方も参加しやすいから。
- ・ZOOM は、移動時間、拘束時間の短縮になるので良いと思います。自分は対面希望、多くの方が参加できる。
- ・参加が困難な体調でも自宅で研修ができます。
- ・会場に来れない方へも啓発につながるので実施したほうがよい。
- ・言葉がはっきりしない。

5. 次回以降、**対面での研修会を希望**されますか？ ※該当する項目に○をつけてください。

はい 33 いいえ 2 無回答 4



6. 今年度の研修会のチラシをみて参加してみたい会はありますか？ ※該当する項目に○をつけてください。

第3回 (2/7 関わり方) 18 第4回 (3/28 まちづくり) 10 全ての研修会 15
無回答 2

7. 今後、研修会で取り上げて欲しいテーマについて ※複数回答可、該当する項目に○をつけてください。

当事者のお話 8 **家族(介護者)のお話 16** **介護保険のお話 13** 成年後見制度のお話 9
認知症の方を支えるシステム、街づくりのお話 11 認知症の方々を支える先駆的な取り組み 6
認知症の病気 5 認知症の予防 8 認知症医療センターの取り組み 3 投資信託 1
その他
→自分ではヘルプをだせない方 (ex. 認知・独居・自覚なし) へのアプローチ方法
→犯罪 (訪問販売など) から守る方法

8. 研修会に参加して頂いての質問、配布資料についてのご意見等がございましたら、下記に記載していただければ幸いです。

- ・とても分かりやすかったです。
- ・慣れないせいか、PCからの音声聞き取りにくい場面が多くありました。できれば会場で本人の生の声を聞きたいです。どうしても反響になってしまっていました。ありがとうございました。
- ・特になし。
- ・たくさんの資料を頂けてありがたいです。今後の業務に役立たせて頂きます。
- ・認知症と老化、いつ認知症と判断されるのか
- ・講演に沿った資料の配布ありがとうございます。聞きもらした内容も論文で確認することができますね。
- ・今日は有難うございました。
- ・しっかりと説明しても、認知症の方の場合、すぐにリセットされ、何度も同じ話を繰り返すことになります。どのように、当事者に理解、定着していらっしゃるのでしょうか？
- ・今回は Web だった為、とても良い内容だと思うがひびきすぎて、話がわかりにくかったのが残念でした。
- ・とても実り多き研修でしたが、聞き取りにくい部分があったので、気になりました。いつもこの様な研修を企画して頂き、感謝致しています。ありがとうございました。
- ・実際に治療の場で、今後取り組むべき課題が明確になった。
- ・民生委員として当人の方によりそい、サポートのしかた等を学べて良かった。いずれ、私もなります。その時の心づもりも学べ、一人暮らしを大切に常に外に向けて行動していきたい。

9. その他：アーカイブ配信希望、福岡県認知症医療センター 飯塚記念病院に対するご意見・ご要望などがございましたらご記入ください。

- ・ありがとうございました!!
- ・とても勉強になりました。“認知症は恐くない” 有難うございました。



【参加者からの感想】

当事者と家族と医療がいいチームを作れたら、折り合いをつけて生活していけるんだなと思いました。そこに他人事として無関心にならずに関わってくれる地域の意識が加わると心強くなる。

認知症だけでなく、育児にも、独居のお年寄りにも、全ての年齢の全ての人に繋がる事だと思いました。

「がんばって下さい」とキョリをおかずに自分に何が出来るだろうと自分の在り方を考えて行動していこうと思いました。ピアサポートは、当事者とその家族にとって、大きな支えになると思いました。